

**温対法における特定排出者の
他の者から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素排出量の
算定等に用いられる排出係数について
(令和〇〇年度実績)**

令和 年 月 日

会社名

$$\text{基礎排出係数 (t-CO}_2\text{/GJ)} = \frac{\text{基礎二酸化炭素排出量}}{\text{販売熱量}}$$

$$\text{調整後排出係数 (t-CO}_2\text{/GJ)} = \frac{\text{一次調整後二酸化炭素排出量} - \text{国内及び海外認証排出削減量等}}{\text{販売熱量}}$$

【事業者別または営業地域別】

販売熱量 (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	二酸化炭素排出係数 (t-CO ₂ /GJ)
	(基礎二酸化炭素排出量)	(基礎排出係数)
	(一次調整後二酸化炭素排出量)	
	(調整後二酸化炭素排出量)	(調整後排出係数)

〔前年度報告との比較・分析〕

販売熱量 (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	二酸化炭素排出係数 (t-CO ₂ /GJ)	差異分析
	(基礎二酸化炭素排出量)	(基礎排出係数)	
	(一次調整後二酸化炭素排出量)		
	(調整後二酸化炭素排出量)	(調整後排出係数)	

「熱の製造に伴い排出された基礎二酸化炭素排出量及び一次調整後二酸化炭素排出量」の算定根拠資料
(令和〇〇年度実績)

会社名

1. 自ら製造した熱

ア. 熱製造に用いた燃料

①燃料使用量が判明する場合

$$\text{燃料使用量} \times \text{燃料種別発熱量} \times \text{燃料種別排出係数} \times 44 / 12 = \text{CO}_2\text{排出量}$$

②燃料が都市ガスの場合

$$\text{都市ガス使用量} \times \text{調達先の事業者別排出係数} = \text{CO}_2\text{排出量}$$

*基礎二酸化炭素排出量を求めるには事業者別基礎排出係数を、一次調整後二酸化炭素排出量を求めるには事業者別調整後排出係数を用いる

<燃料種と使用量>

燃料種	燃料使用量	燃料種別発熱量	総発熱量 (MJ)	燃料種別排出係数 (t-C/GJ)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
輸入原料炭	t	28.7 MJ/t	0	0.0246	0
コークス用原料炭	t	28.9 MJ/t	0	0.0245	0
吹込用原料炭	t	29.3 MJ/t	0	0.0251	0
輸入一般炭	t	26.1 MJ/t	0	0.0243	0
国産一般炭	t	24.2 MJ/t	0	0.0242	0
輸入無煙炭	t	27.8 MJ/t	0	0.0259	0
石炭コークス	t	29.0 MJ/t	0	0.0299	0
石油コークス又はFCCコーク	t	34.1 MJ/t	0	0.0254	0
コールタール	t	37.3 MJ/t	0	0.0209	0
石油アスファルト	t	40.0 MJ/t	0	0.0204	0
コンデンセート(NGL)	千kl	34.8 MJ/千kl	0	0.0183	0
原油	千kl	38.3 MJ/千kl	0	0.0190	0
揮発油	千kl	33.4 MJ/千kl	0	0.0187	0
ナフサ	千kl	33.3 MJ/千kl	0	0.0186	0
ジェット燃料油	千kl	36.3 MJ/千kl	0	0.0186	0
灯油	千kl	36.5 MJ/千kl	0	0.0187	0
軽油	千kl	38.0 MJ/千kl	0	0.0188	0
A重油	千kl	38.9 MJ/千kl	0	0.0193	0
B・C重油	千kl	41.8 MJ/千kl	0	0.0202	0
潤滑油	千kl	40.2 MJ/千kl	0	0.0199	0
液化石油ガス(LPG)	t	50.1 MJ/t	0	0.0163	0
石油系炭化水素ガス	千m ³	46.1 MJ/千m ³	0	0.0144	0
液化天然ガス(LNG)	t	54.7 MJ/t	0	0.0139	0
天然ガス	千m ³	38.4 MJ/千m ³	0	0.0139	0
コークス炉ガス	千m ³	18.4 MJ/千m ³	0	0.0109	0
高炉ガス	千m ³	3.2 MJ/千m ³	0	0.0264	0
発電用高炉ガス	千m ³	3.5 MJ/千m ³	0	0.0264	0
転炉ガス	千m ³	7.5 MJ/千m ³	0	0.0420	0
RDF	t	18.0 MJ/t	0	0.0162	0
RPF	t	26.9 MJ/t	0	0.0166	0
廃タイヤ	t	33.2 MJ/t	0	0.0135	0
廃プラスチック(一般廃棄物)	t	29.3 MJ/t	0	0.0257	0
廃プラスチック(産業廃棄物)	t	29.3 MJ/t	0	0.0239	0
廃油又は廃油から製造された燃料炭化水素	千kl	40.2 MJ/千kl	0	0.0179	0
廃プラスチック類から製造された燃料炭化水素	千kl	38.0 MJ/千kl	0	0.0188	0
小計	—	—	0	—	0

<都市ガスを使用している場合>

ガス事業者の名称	都市ガス使用量 (1000m ³)	事業者別基礎排出係数 (t-CO ₂ /1000m ³)	基礎二酸化炭素排出量(t-CO ₂)	事業者別調整後排出係数 (t-CO ₂ /1000m ³)	一次調整後二酸化炭素排出量(t-CO ₂)
			0		0
			0		0
			0		0
小計		—	0	—	0

イ. 熱製造に用いた電気

- ① 事業者等別二酸化炭素排出係数が判明する場合
 (固定価格買取制度及び非FIT非化石電源より調達したものを除く)

調達電力量 × 事業者等別二酸化炭素排出係数 = CO₂排出量

事業者の名称	調達電力量 (kWh)	事業者等別基礎排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	基礎二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	事業者等別調整後排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	一次調整後二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
			0		0.000
			0		0
			0		0
小計		—	0	—	0

- ② 事業者等別二酸化炭素排出係数が判明しない場合
 (固定価格買取制度で電気調達したものを除く)

調達電力量 × 代替値 = CO₂排出量

事業者の名称	調達電力量 (kWh)	代替値 (t-CO ₂ /kWh)	基礎二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
			0
			0
			0
小計		—	0

2. 他の者から供給された熱

- ① 調達先が熱供給事業者であり、かつ、提供された熱の生成に用いた燃料や電気等の情報が特定できる場合

調達熱量 × 情報に応じ算出できる排出係数 = CO₂排出量

事業者の名称	調達熱量 (GJ)	情報に応じ算出できる排出係数 (t-CO ₂ /GJ)	基礎二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	情報に応じ算出できる調整後排出係数 (t-CO ₂ /GJ)	一次調整後二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)
			0		0
			0		0
			0		0
小計		—	0	—	0

- ② 調達先が熱供給事業者以外である、又は提供された熱の生成に用いた燃料や電気等の情報が特定できない場合

調達熱量 × 省令の排出係数 = CO₂排出量

事業者の名称	調達熱量 (GJ)	省令の排出係数 (t-CO ₂ /GJ)	CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)
	100	10.000	1,000
			0
			0
小計	100	—	1,000

自ら製造した熱のうち、コジェネレーションシステムを活用して製造した熱の内訳
(令和〇〇年度実績)

会社名

1. 二酸化炭素排出量の按分

当該コジェネレーションシステムの燃料と使用量

燃料の種類	
燃料使用量	千m ³
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	

←左セルに表1の(燃料種と使用量)に準じて単位を記載のこと

	出力 (2次エネルギー)		出力を得るのに必要となる 投入量 (1次エネルギー)		二酸化炭素排出量 (t-GO2)
電気		kWh		MJ	
熱		MJ		MJ	

自社保有設備の実効率(MJ/MJ)	
-------------------	--

2. 備考

※当該コジェネレーションシステムが、その生成した電気を他の者に供給し、電気事業者の事業者別排出係数の計算に用いられている場合はその旨を記載すること。

自ら排出量調整無効化した国内認証排出削減量の内訳
(令和〇〇年度実績)

会社名

	削減量の種別	排出量調整 無効化量 (t-CO2)	特定番号	排出量調整 無効化日
1				
2				
.				
.				
.				
.				
.				
合計		0		

- ※ 本表に記載した全ての国内認証排出削減量について、当該熱供給事業者が排出量調整無効化を行ったことを確認できる書類を添付すること。
- ※ 本表に記載した全ての国内認証排出削減量については、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

グリーンエネルギーCO2削減相当量認証制度(グリーン電力証書、グリーン熱証書)による
二酸化炭素削減相当量の内訳
(令和〇〇年度実績)

会社名

1. グリーン電力証書

$$\text{グリーン電力証書による二酸化炭素削減相当量} = \text{取得した証書(kWh)} \times \text{全電源排出係数(t-CO}_2\text{/kWh)}$$

①取得した電力証書の量

	電力量 (kWh)
合計	

②非化石電源二酸化炭素削減相当量の内訳

取得した電力証書の量(kWh)	全電源排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	グリーン電力証書による 二酸化炭素削減相当量 (t-CO ₂)
		0

※ 本表に記載した取得した電力証書の量については証書の写しを添付すること。

2. グリーン熱証書

$$\text{グリーン熱証書による二酸化炭素削減相当量} = \text{取得した証書(MJ)} \times \text{代替される燃料の単位発熱量当たりの排出係数(t-CO}_2\text{/MJ)} \div \text{代替される熱設備のエネルギー消費効率(\%)}$$

①取得した熱証書の量

	熱 (MJ)
合計	

②非化石電源二酸化炭素削減相当量の内訳

取得した熱証書の量(MJ)	代替燃料の 排出係数 (t-CO ₂ /GJ)	熱設備のエネルギー 消費効率 (%)	グリーン熱証書による二酸化炭素削減相当量 (t-CO ₂)
			0

※ 本表に記載した取得した熱証書の量については証書の写しを添付すること。

自らの代わりに他の者が排出量調整無効化した国内認証排出削減量の内訳
(令和〇〇年度実績)

会社名

	代理償却者 ^{注)}	削減量の種別	排出量調整無効化量 (t-CO2)	特定番号	排出量調整無効化日
1					
2					
.					
.					
.					
.					
.					
合計			0		

注) 代理償却をおこなった他者は、事業者別にまとめて記載すること

※ 本表に記載した全ての国内認証排出削減量について、当該熱供給事業者が排出量調整無効化を行ったことを確認できる書類を添付すること。

※ 本表に記載した全ての国内認証排出削減量については、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

自ら排出量調整無効化した海外認証排出削減量の内訳
(令和〇〇年度実績)

会社名

	削減量の種別	排出量調整 無効化量 (t-CO2)	識別番号	排出量調整 無効化日
1				
2				
.				
.				
.				
.				
.				
合計		0		

- ※ 本表に記載した全ての海外認証排出削減量について、当該熱供給事業者が排出量調整無効化を行ったことを確認できる書類を添付すること。
- ※ 本表に記載した全ての海外認証排出削減量については、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

自らの代わりに他の者が排出量調整無効化した海外認証排出削減量の内訳
(令和〇〇年度実績)

会社名

	代理償却者 ^{注)}	削減量の種別	排出量調整無効化量 (t-CO2)	識別番号	排出量調整無効化日
1					
2					
.					
.					
.					
.					
.					
合計			0		

注) 代理償却をおこなった他者は、事業者別にまとめて記載すること

※ 本表に記載した全ての海外認証排出削減量について、当該熱供給事業者が排出量調整無効化を行ったことを確認できる書類を添付すること。

※ 本表に記載した全ての海外認証排出削減量については、特定排出者(自社を含む)が温対法第26条に基づき国に報告する調整後温室効果ガス排出量の算定に用いることはできない。

非化石電源二酸化炭素削減相当量(FIT非化石証書分)の内訳
(令和〇〇年度実績)

会社名

非化石電源二酸化炭素削減相当量 = 取得したFIT非化石証書の量 × 全国平均係数 × 補正率

①取得したFIT非化石証書の量

	電力量 (kWh)
合計	

②非化石電源二酸化炭素削減相当量の内訳

取得したFIT非化石証書の量 (kWh)	全国平均係数 (t-CO2/kWh)	FIT非化石証書 補正率	非化石電源二酸化炭素削減相当量 (t-CO2)
			0

※ 本表に記載した取得した非化石証書の量について、卸電力取引所より、当該非化石証書の口座保有量を証するものを書面にて入手の上、その写しを添付すること。

非化石電源二酸化炭素削減相当量(非FIT非化石証書分)の内訳
(令和〇〇年度実績)

会社名

非化石電源二酸化炭素削減相当量＝取得した非FIT非化石証書の量×全国平均係数×補正率

①取得した非FIT非化石証書の内訳

	電力量 (kWh)	種別(再エネ指定あり・なし)
1		再エネ指定あり(合計値)
2		再エネ指定なし(合計値)
合計		

②非化石電源二酸化炭素削減相当量の内訳

取得した非FIT非化石証書の量 (kWh)	全国平均係数 (t-CO2/kWh)	非FIT非化石証書 補正率	非化石電源二酸化炭素削減相当量 (t-CO2)
			0

※ 本表に記載した取得した非化石証書の量について、卸電力取引所より、当該非化石証書の口座保有量を証するものを書面にて入手の上、その写しを添付すること。

固定価格買取、非FIT非化石電源調達による調整二酸化炭素排出量の算出の内訳
(令和〇〇年度実績)

会社名

1. 固定価格買取、非FIT非化石電気の調達による調整二酸化炭素排出量の算出

以下の式にて求める。

固定価格買取、非FIT非化石電気の 調達による調整二酸化炭素排出量	=	固定価格買取・非FIT非化石電気の電力量	×	全国平均係数
--------------------------------------	---	----------------------	---	--------

固定価格買取・非FIT非化石電気の調達 による調整二酸化炭素排出量 (t-CO2)	固定価格買取・非FIT非化石電気の電力量 (kWh)	全国平均係数 (t-CO2/kWh)
0		

上記、固定価格買取、非FIT非化石電気の内訳

熱の生成に利用した 固定価格買取電力量 (kWh)	熱の生成に利用した 非FIT非化石電力量 (kWh)

**温対法における特定排出者の
他の者から供給された熱の使用に伴う二酸化炭素排出量の
算定等に用いられる排出係数について
(令和〇〇年度実績、メニュー別)**

会社名

【事業者別または営業地域別】(再掲)

販売熱量 (GJ)	二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	二酸化炭素排出係数 (t-CO ₂ /GJ)
	(基礎二酸化炭素排出量)	(基礎排出係数)
	(一次調整後排出量)	/
	(調整後二酸化炭素排出量)	

【メニュー別】

販売熱量 (GJ)	一次調整後二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	国内及び海外認証 排出削減量等の量 (t-CO ₂)	調整後二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /GJ)
A				
B				
C				
(参考) 合計				

※メニュー別排出係数について記入欄が不足する場合は別途、国に申し出ること。(「残差により作成した係数」は最終行に設定するものとする。)

「熱の製造に伴い排出されたメニュー別調整後二酸化炭素排出量」の算定根拠資料
(令和〇〇年度実績、メニュー別)

会社名

1. メニュー別販売量と一次調整後二酸化炭素排出量、調整後二酸化炭素排出量

メニュー	販売熱量 (MJ)	一次調整後二酸化炭素排出量 (t-CO2)		他者から供給された 電気使用相当量 (kWh)	固定買取及び非FIT非化石電 気による調整二酸化炭素排 出量 (t-CO2)	排出量調整無効化等した 国内及び海外認証 排出削減量等 (t-CO2)	調整後二酸化炭素排出量 (t-CO2)
		うち 他者から供給された電 気の使用に伴う一次調整後 二酸化炭素排出量 (t- CO2)					
A							
B							
C							
合計							

排出量調整無効化等した国内及び海外認証排出削減量等
(令和〇〇年度実績、メニュー別)

会社名

◎表3・自ら排出量調整無効化した国内認証排出削減量の内訳

	排出量調整無効化量 (t-CO ₂)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0		

◎表4・自らの代わりに他の者が排出量調整無効化した国内認証排出削減量の内訳

	排出量調整無効化量 (t-CO ₂)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0		

◎表3-2・グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証制度(グリーン電力証書、
グリーン熱証書)の内訳

	グリーンエネルギーCO ₂ 削減相当量 (t-CO ₂)		
	メニューA	メニューB	メニューC
グリーン電力証書	0		
グリーン熱証書	0		
小計	0	0	0

◎表5・自ら排出量調整無効化した海外認証排出削減量の内訳

	排出量調整無効化量 (t-CO ₂)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0		

◎表6・自らの代わりに他の者が排出量調整無効化した海外認証排出削減量の内訳

	排出量調整無効化量 (t-CO ₂)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0		

◎表7-1・非化石電源二酸化炭素削減相当量(FIT非化石証書分)の内訳

	非化石電源二酸化炭素削減相当量(FIT非化石証書分) (t-CO ₂)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0		

◎表7-2・非化石電源二酸化炭素削減相当量(非FIT非化石証書分)の内訳

	非化石電源二酸化炭素削減相当量(非FIT非化石証書分) (t-CO ₂)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0		

◎表3から表7-2までの合計

	排出量調整無効化量、非化石電源二酸化炭素削減相当量 及びグリーンエネルギー二酸化炭素削減相当量 (t-CO ₂)		
	メニューA	メニューB	メニューC
小計	0	0	0